

留学報告書 ～10 カ月間の留学生活～

ノースセントラル大学
経済学部生（長期）

私は 2018 年の 8 月から 2019 年の 6 月までノースセントラル大学に長期の交換留学をしました。この 10 か月間は私が今まで経験した中で一番充実した期間でした。ここからは私が留学期間中での出来事や学んだことを順番に述べていきます。

〔ノースセントラル大学について〕

ノースセントラル大学はシカゴから電車で一時間離れたネイパービルというところにあります。そこは、空気がきれいで、とても穏やかです。大学には野生のリスが多く存在し、一度外にでれば必ず出会えます。大学の近くにはダウンタウンがあり、いろんな国の食べ物が食べられるレストランやショッピングモールがあつて、そこそこ栄えています。個人的にネイパービルならずと居てもいいと思ってしまうます。

気候は夏は 30 度いかないくらいで、また、ハリケーンなど嵐は滅多に起きないです。しかし、冬はとても寒く、最高気温が氷点下になるのは普通です。一度気温が-30 度近くまで下がったとき授業が 3 日連続でなくなったこともありました。それに加えて、雪がたくさん降り、かなり積もります。地面が氷って滑りやすくなってる日は夜の授業や図書館が休みになりました。

〔研修期間中〕

アメリカに到着してから最初の二週間はノースセントラル大学で行われた研修に参加しました。当時はまだアメリカに来て間もなかったので、心配事などが多かったですが、研修中のアドバイザー（現地の学生）がとても親切に対応してくれたのと、研修に参加していた他の留学生の 8 割が日本人だったので緊張と不安がだんだん和らいでいきました。研修では、月曜日から金曜日の午前中は ELI という英語の授業があり、午後からはネイパービルにある観光地やボランティアセンターなどいろんなところに行きました。夜はみんなが集まってトランプをしたり、映画を一緒に見て過ごしました。

〔私生活〕

研修が終わった後は、他の寮へ引っ越しや、新学期の開始のセレモニーの参加、一年間生活する上で、説明会に参加したりなど、準備におわれていました。

私が移った寮は schneller という名前で、とても広く、設備が充実していました。ルームメイトも優しい人で、分からないことがあったらいつも助けてもらいました。研修中でお

世話になった学生を中心に、その友達、日本語を勉強している学生、授業で出会った学生とよく一緒にいました。ノースセントラル大学は小さい大学なので、歩いていけば必ず知り合いに会い、話せるのですぐ仲良くなりました。週末になると、寮にあるキッチンでみんなと料理をしたり、部屋で遅くまでお酒を飲んだり、Switch をしたりしました。料理ではお好み焼きやカレー、すき焼きもどきなど日本の料理も作りました。この他に、私は“Friendship Family Program” というネイパービルに住む人々と一年間交流をするプログラムに応募しました。選ばれた人は犬を一匹飼っている四人家族の家でした。そのホストファミリーはみなとても優しく、家に招かれご飯を食べたり、教会に行ったり、一緒にお出かけをしました。食事の際はアメリカについて教えてもらったり、逆に日本について教えたりたくさん交流をしました。

[授業]

ノースセントラル大学は三学期制で、最初からレギュラーの授業をとることができます。私はあまり自分の英語力に自信がなかったため、最初の学期は ESL I (English as a Second Language) と中国語と Collge Algebra (数学) という易しめ科目を履修しました。易しめの科目とはいえ、英語で授業が行われるので、少し難しく感じました。また、この二科目はレギュラーの授業なので他の正規の学生についてくのは大変でした。ESL も発音や文法、ライティングのやり方など基本的な内容は一切やらず、プレゼンテーションやアカデミックな内容のリスニングを聞いてサマリーを書くなど初回の授業から発展的な内容だったのでかなり苦労しました。この他に、日本語の授業のアシスタントもしました。生徒に日本語を教えているうちに、第二外国語として日本語を学ぶとはどういうものかわかり、同じく第二外国語として英語を勉強している自分にとって今後学習をする上で役に立つヒントが得られました。二学期は ESL II と First Year Writing と College Trigonometry (数学) を履修しました。この中で一番大変だったのは First Year Writing でした。テキストのトピックが難しいのと古い文章なのでとても読みにくく、自力で理解するのにかなりの時間を要しました。ほんとに理解できないところはネイティブの友達に聞いて理解していました。また、ライティングの課題がとても多く、期限に間に合わせるために徹夜をよくしていました。最後の学期は ESL III と Caluculus (数学) と自分の専攻であるマクロ経済学を履修しました。ESL は先生が変わり、最初の学期と二学期ではやらなかった文法など基礎的な内容を学習しました。経済学はまだ日本の大学で学習していない内容を勉強したので難しく、毎回予習していました。数学も理系の大学で習うような内容ができたので、理解するのに時間がかかりました。

ここまでで、私はアメリカの大学教育は素晴らしいものだと思います。日本の大学とは違い、受け身の授業が少なく、課題は頭を使うようなものが多く、一つ一つの知識が深く理解して得られてると実感できました。

〔旅行〕

ノースセントラル大学は11月の下旬から1月の初旬まで冬休み、3月の中旬から二週間春休みがあり、その間にニューヨークとシカゴに行きました。シカゴは大学から電車で一時間ほどなので、日帰りでも何回も行きました。ショッピングをしたり、映画を見たり、水族館に行ったり、牛角で日本の料理を食べました。ニューヨークではタイムズスクエアにあるホテルで3泊4日し、自由の女神やタイムズスクエア、ブルックリン橋を観光しました。また、この他にブロードウェイでオペラ座の怪人も見ました。本場ということもあり、演技や歌声など迫力が凄く、とても感動しました。

〔最後に〕

私は今まで海外に行ったことがなく、このアメリカ留学は初海外でもありました。最初は語学や生活の面で多くの不安があり、また実際に生活する上で、早く日本に帰りたいとまで思ったこともありました。しかし、日が過ぎるごとに、さまざまなことを経験し、ノースセントラルの良さやまわりの仲間と過ごすことの楽しさが分かっていきました。最終的に、帰国前にはトランスファーをしてずっと居たいとまで思いました。このような充実した生活を送れたのは、友達や両親、大学のお陰だと思っています。これからは、これを生かして、より良い生活をおくろうと思います。

